



ARSC NEWS

The Newsletter of the Applied Regional Science Conference

No.97
July 2018

応用地域学会ニュースレター

CONTENTS

1. 運営委員選挙の結果
2. 運営幹事等役員の選任
3. 第32回研究発表大会のご案内
4. 2018年度坂下賞候補者の推薦について
5. 第8回アジア地域科学セミナーのご案内
6. 「応用地域学研究」への投稿論文の募集
7. 2017年度学会決算(概要)について
8. 2018年度第1回運営委員会報告(概要)
9. 事務局だより

1. 運営委員選挙の結果

選挙管理委員 織田澤 利守 (神戸大学)
森田 忠士 (近畿大学)

2018-2019年度 ARSC 運営委員選挙は、2018年3月15日締め切りで実施されました。開票集計は、3月22日に選挙管理委員と事務局で行われました。結果、以下の20名の方々が選出され、平成30年4月1日～平成32年3月31日までの2年の任期で、運営委員に就任されましたのでご報告いたします。

応用地域学会 2018～2019年度運営委員

東地区(11名)：

吾郷 貴紀(専修大学)，浅田 義久(日本大学)，石倉 智樹(首都大学東京)，伊藤 亮(東北大学)，川田 恵介(東京大学)，城所 幸弘(政策研究大学院大学)，直井 道生(慶應義塾大学)，小川 光(東京大学)，瀬古美喜(武蔵野大学)，田淵 隆俊(東京大学)，曾 道智(東北大学)，以上11名

西地区(9名)：

浜口 伸明(神戸大学)，亀山 嘉大(佐賀大学)，黒田 達朗(名古屋大学)，松島 格也(京都大学)，松島 法明(大阪大学)，松尾 美和(神戸大学)，森 知也(京都大学)，文 世一(京都大学)，山本 和博(大阪大学)，以上9名

(敬称略，アルファベット順)

2. 運営幹事等役員の選任

ARSC 事務局

新しい運営委員のもと、運営委員会が2018年6月2日（東京）に開催され、以下のように2018年度の運営幹事等の役員、委員会委員等が選任、又は任命されました。（下線が今回の新任、敬称略・順不同）

2018 年度 ARSC 役員等

○運営幹事（規程無）

・実質的に事務局業務の幹事業務を担う。

<2018・2019>

総務（会員の入退会）	<u>浜口 申明（神戸大学）</u>
会計（決算，予算）	<u>石倉 智樹（首都大学東京）</u>
渉外（ニュースレター）	<u>曾 道智（東北大学）</u>

○監査委員（会則第9条3項）

・運営委員会が個人会員の中から委嘱する（2名）。任期の規程無。

<2017・2018>

相浦 洋志（南山大学）
小川 光（東京大学）

○選挙管理委員（選挙内規第3条）

・会長が指名する（2名）。任期の規程無。

<2017・2018>

織田澤 利守（神戸大学）
森田 忠士（近畿大学）

○大会プログラム委員会（規程無）

・運営委員会で選任・委員長指名（開催大学・委員長の意向により委員の増減あり）

<2018年度（南山大学）>

委員長 松島 法明（大阪大学）
委員 石川 良文（南山大学），内藤 徹（同志社大学）
松尾 美和（神戸大学），円山 琢也（熊本大学）

○坂下賞選考委員会（2004 年度～）

<坂下賞選考規程> [選考委員会] 第5条：運営委員会によって選出された3名の委員と会長及び副会長の5名によって構成される。委員長は、5名の中から運営委員会によって指名された者が当たる。[選考委員の任期] 第6条：運営委員会によって選出された3名の委員の任期は3年とし、連続して2期務めることは出来ない。これらの委員は、毎年1人が新任となり、1人が退任する。会長及び副会長については、その在任期間を任期とする。

<2018年度坂下賞選考委員会委員>

委員長 城所 幸弘 (政策研究大学院大学 3年目)

委員 村田 安寧 (日本大学 2年目) , 松島 格也 (京都大学 1年目)

安藤 朝夫 (ARSC会長) , 大澤 義明 (ARSC副会長)

○応用地域学会論文賞 (Best Paper Award of ARSC) 選考委員会

<応用地域学会論文賞選考規程>

[選考委員会] 第5条: 運営委員会によって選出された3名の委員と会長及び副会長の5名によって構成される。

委員長は5名の中から運営委員会によって指名された者が当たる。

[選考委員の任期] 第6条: 運営委員会によって選出された3名の委員の任期は3年とし、連続して2期務めることは出来ない。これらの委員は、毎年1人が新任となり、1人が退任する。会長及び副会長については、その在任期間を任期とする。

<2017 度選考委員会>

委員長 河端 瑞貴 (慶應義塾大学 3年目)

委員 河野 達仁 (東北大学 2年目) , 浅田 義久 (日本大学 1年目)

安藤 朝夫 (ARSC 会長) , 大澤 義明 (ARSC 副会長)

3. 第 32 回研究発表大会のご案内

第 32 回研究発表大会実行委員長 奥田 隆明 (南山大学)

2018 年度大会は、南山大学の主催で、下記要領で開催いたします。意欲的な論文の発表と活発な討論を期待しております。奮っての参加をお願い致したく、ご案内申し上げます。

(1)大会概要

① 期 日 2018 年 12 月 1 日 (土) , 2 日 (日)

(総会・懇親会は 12 月 1 日 (土))

② 会 場 南山大学名古屋キャンパス Q 棟 (名古屋市昭和区山里町 18)

<<http://www.nanzan-u.ac.jp/CMAP/nagoya/campus-nago.html>>

③ 大会ホームページ <<https://sites.google.com/site/nanzanarsc2018/>>

④ 大会参加費: 正会員 3,000 円, 非会員 5,000 円, 学生 1,000 円 (正会員, 非会員とも)

なお、懇親会費は一般 5,000 円, 学生 2,000 円

* 宿泊施設は定常的に混雑していますので、各自でなるべく早くご予約下さい。

* 大会と懇親会の参加申込については、添付の「参加申込用紙」をご使用下さい。なお、詳細については大会ホームページをご覧ください。

(2) 発表申込

① 発表者の条件 **ARSC 会員であること**

※非会員の場合は発表申込までに入会手続きを行ってください。

② 発表申込み

下記について、添付の「発表申込用紙」をご使用いただき、お申込みください。

(発表申込用紙は、大会ホームページからもダウンロードできるようにします。)

a. 発表者氏名・所属

b. 連名者氏名・所属

c. 発表者連絡先 住所、電話、E-mail アドレス

d. 発表題目 (和・英のいずれか)

e. 要旨 (和文 200 字、英文 100 語程度。いずれかを記載)

f. 発表時の使用言語 (日本語または英語)

g. 希望討論者 (候補者 2 名まで)

※候補者の方に事前に打診される必要はありません。プログラム編成や討論者のご都合によってはご希望に添えないことがあります。あらかじめご了承ください。

h. 発表区分 (「一般セッション」「Early Bird セッション」「特定セッション」「シンクタンク・セッション」の区分を記入。次項 (3) を参照)

③ 発表申込方法 **申込用紙は E-mail に添付して、下記第 32 回研究発表大会プログラム委員会まで、お送り下さい。**

*メールの件名は「arsc 申込(名前)」として下さい。

*発表申込用紙のファイル名は「application(名前)」として下さい。

(例 application(鈴木一郎)など)

④ 発表申込先 **第 32 回研究発表大会プログラム委員会**

E-mail: arsc2018application@gmail.com

⑤ 発表申込期限 **2018 年 9 月 15 日 (土) 必着**

(3) セッション構成と企画の募集

・下記セッションを開催いたします。「特定セッション」と「シンクタンク・セッション」については、広く会員各位からの企画提案を募集しています。

・**2018 年 9 月 15 日 (土) までに企画提案をお送りください。** (送り先は上記申込先と同じです。書式は問いません。)

一般セッション	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い論題でのセッションです。下記のキーワード（事例）に限定することなく、ARSC にとって関連のある論題を積極的にご報告ください。 《地域問題》 成長と衰退, 地域格差, 産業構造, 雇用・人口, 地方分権, 地方交付税, 国土計画 《都市問題》 都市空間, 土地利用, 都市集積, 外部経済, 住宅立地, 都市化, 都市財政 《交通》 都市交通, 混雑税, TDM, 航空・港湾, 投資評価, 物流, 通信 《環境》 影響評価, 環境税, 水質・大気汚染, 地球環境, 電力, 資源管理, 防災 《国際問題》 開発援助, 直接投資, 通貨問題, 貿易・関税
Early Birdセッション	<ul style="list-style-type: none"> ・博士論文等を執筆している若手研究者や大学院在籍中の学生会員が報告するセッションです。 ・単著論文に限らず、ARSC の将来を担う若手研究者が主体的に取り組んだ研究報告を期待します。なお、本セッションに限り、共著者による代理報告は認められません。
特定セッション	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の論題を重点的に議論するためのセッションです。論点や方法論、対象が共通する論文数編から構成されます（これまでに「新しい産官学連携のあり方ー筑波大学での革新的取り組みー」、「沖縄県の経済振興を考える」、「少子高齢社会の社会保障・教育・環境」、「交通混雑緩和と料金政策」、「知識の創造・伝搬と集積の経済」、「人口経済学的アプローチ」などの特定セッションが組まれました）。 ・このセッションの企画を募集しております。オーガナイザーを務めていただける方々からの積極的な応募をお願いいたします。
シンクタンク・セッション	<ul style="list-style-type: none"> ・ARSC は、会員による研究成果を実務へ活用するとともに、実務の中で発見された様々な問題を新たな研究課題として会員に紹介するという双方向の展開が重要であるという共通認識に立っています。 ・このセッションは、会員の中で特に計画、政策立案、それに関連する調査等の実務に携わっている方々からの報告や問題提起を基に構成されます。 ・賛助会員の方々をはじめ、実務関係者の方々からの企画提案をお待ちしております。

(4) 今後の予定

① 大会プログラム

- ・10月20日を目途に確定し、大会ホームページとニュースレターを通じてお知らせいたします。

② 発表原稿

- ・最終の発表原稿を11月9日（金）までに座長、討論者、大会事務局の3か所にそれぞれ個別にお送りください。

* E-mail に添付して送られる場合は、必ず PDF 形式にしてください。

* 大会事務局宛てのメールの件名は「arsc 論文(名前)」として下さい。

* 論文のファイル名は半角アルファベットで「paper (name)」として下さい。

(例 paper (ichiro suzuki) など)

* 座長、討論者の連絡先が分からないときは、大会事務局にお問い合わせください。

- ・大会事務局に論文をPDFで送付していただければ、大会HPに報告論文をアップロードします。
(アップロードの期間は本年中とします。) アップロードを希望しない場合は、メールにその旨を明記してください。
- ・発表会場には、論文またはそれに準ずるもののコピーを30部程度用意してください。
- ・発表会場にはVGA接続のプロジェクターのみ準備する予定です。ノートPCなどをお持込ください。

(5) 2018年大会実行組織

(敬称略)

大会実行委員会	委員長 奥田 隆明 (南山大学) 委員 石川 良文 (南山大学), 相浦 洋志 (南山大学) 焼田 党 (南山大学), 鶴見 哲也 (南山大学) 長谷川 高則 (南山大学)
プログラム委員会	委員長 松島 法明 (大阪大学) 委員 石川 良文 (南山大学), 内藤 徹 (同志社大学) 松尾 美和 (神戸大学), 円山 琢也 (熊本大学)
大会事務局・ お問い合わせ	〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18 南山大学経営学部 奥田研究室 電話: 052-832-3111 (代表) 内線 3789 E-mail: nanzanarsc2018@gmail.com

4. 2018年度坂下賞候補者の推薦について (候補者を公募します)

坂下賞選考委員会委員長 城所 幸弘 (政策研究大学院大学)

応用地域学会では、日本における地域科学の研究を発展させ、当学会を地域科学研究の世界的拠点にする視点に立ち、若い研究者を奨励することを目的として、毎年1名の方に『坂下賞』を授与しております。

対象者は、応用地域学会の会員かつ2018年12月31日に満40歳以下の方で、地域科学の理論的研究、実証的研究及び政策的研究のいずれか(あるいは複数の領域)で大きな貢献をなし、現在もなお継続的に研究活動を行っていることが条件となります。

2011年度から一般会員からの推薦も含めて選考することとなりましたので、奮ってご推薦下さい。

<募集要領>

推薦資格：応用地域学会員であること

推薦者数：原則として被推薦者(候補者)1名につき、推薦者1名(自薦も可)

応募書類：推薦書(A4一枚：推薦書様式参照)および業績リスト(様式は任意)

締 切：2018年10月1日(月) 17時

(必着：メールの場合は受け取りを確認すること)

宛 先: 下記, 安藤朝夫ARSC会長宛, PDFあるいはMS-Wordのファイルをメール添付で送付して下さい。

E-mail: ando@se. is. tohoku. ac. jp

なお, 推薦された候補者は, 坂下賞選考委員会で, 委員会推薦の候補者と併せて審議され, 受賞者が決定されます。受賞者は, 応用地域学会総会(2018年12月1日, 於南山大学)で, 発表・表彰いたします。

<2018年度坂下賞選考委員会委員>

委員長 城所 幸弘 (政策研究大学院大学)
委員 村田 安寧 (日本大学)
委員 松島 格也 (京都大学)
委員 安藤 朝夫 (ARSC会長)
委員 大澤 義明 (ARSC副会長)

5. 第8回アジア地域科学セミナーのご案内

ARSC 事務局

アジア地域科学セミナーは, アジア諸国における地域科学の研究発展と交流を促進するために, 応用地域学会 (ARSC), 台湾地域学会 (CRSA), 中国地域学会 (RSAC), 韓国地域学会 (KRSA) が共催して行い, 第2回より, 各国持ち回り開催となっております。(第2回は日本 (ARSC), 第3回は台湾 (CRSA), 第4回は韓国 (KRSA), 第5回は中国 (RSAC), 第6回は日本 (ARSC), 第7回は台湾 (CRSA) が主催しました。)
第8回アジア地域科学セミナーは, Korean Regional Science Association (KRSA) の主催により, 2018年9月7日~9日, Jeju National University (韓国済州島) で開催されます。5月18日時点で, 日本 (ARSC) からは, 13本の論文発表が予定されています。

* 日程

2018年9月7日(金)~9日(日)

9/7(金): Welcome Address, Keynote Speech 1, Session Seminars, Welcome Reception

9/8(土): Keynote Speech 2, Session Seminars

9/9(日): Technical Tour

* 開催場所

Ara Convention Hall, Jeju National University (韓国済州島)

* セミナーホームページ

<https://www.asrs2018.com/>

* 登録料

一般： US\$200.00

学生： US\$100.00

* Accommodation information

第8回アジアセミナー事務局より、大学院生向けの特別レートによる宿泊情報が届きました。詳細については、添付の「Accommodation in conference venue at special rates」を参照ください。7月31日（火）が予約期限となっていますので、宿泊を希望される方はお早めにご予約ください。

* 申込状況（2018年5月18日現在）

全体：論文発表 86本

うち ARSC：論文発表 13本

6. 「応用地域学研究」への投稿論文の募集

「応用地域学研究」編集委員長 堤 盛人（筑波大学）

「応用地域学研究」編集委員会では論文投稿を随時受け付けております。投稿論文は編集委員会の指名する複数の査読者により査読が行われます。奮ってご投稿下さい。（<http://www.arsc.org/>を参照ください。）

理論から実証まで幅広い研究論文をお待ちしております。様々な地域課題に関する問題解決型研究などの適時性に優れた論文のご投稿や、若い研究者によるご投稿も歓迎します。

1. 論文投稿の際、論文はできるだけMS-Word形式のファイルを電子メールの添付ファイルでお送り下さい。宛先は、編集委員長です（e-mail: tsutsumi@sk.tsukuba.ac.jp）。PDFファイルでも結構ですが、印刷時の編集の都合で最終原稿はMS-Word形式でお願いすることがあります。
2. 受付の確認を電子メールで送付いたします。投稿後一週間を過ぎても連絡が無い場合は、以下の連絡先までお問い合わせ下さい。
3. 掲載論文の著作権は学会に帰属します。また、応用地域学研究発行の約1年後に掲載論文を学会HPにて公開します。

『応用地域学研究』に関する お問い合わせ先

応用地域学研究編集委員長 堤 盛人

〒305-8573 つくば市天王台 1-1-1 筑波大学システム情報系 社会工学域
TEL 029(853)5007 FAX 029(853)5070
E-Mail tsutsumi@sk.tsukuba.ac.jp

7. 2017 年度決算(概要)について

会計担当運営幹事 石倉 智樹 (首都大学東京)

2017年度(2017年4月1日～2018年3月31日)学会決算(概要)案を以下のとおりご報告いたします。本決算結果は、監査委員による監査後、本年度大会での総会にて会員の皆様への報告がなされ、審議される予定です。なお監査委員は、昨年から引き続き、相浦洋志(南山大学)及び小川光(東京大学)の両先生です。(詳細の報告は、監査終了後、総会承認後のニュースレターに掲載します。)

2017年度は、単年度では110万円強の黒字となり、繰越金は370万円強となりました。ただし応用地域学研究の印刷・送本が会計年度明けの4月にずれ込んだため、実質的な黒字は58万円、繰越金は315万強となります。黒字の要因として、まず、東京大会において、実行委員の先生方の運営努力により、会費収入の範囲で運営され、学会からの負担はありませんでした。また、会員の皆様のご協力により、会費納入額(滞納金含む)は、前年度より58万円増となりました。一方で、これら今年度の黒字要因は一時的なものであり、恒久的ではありません。学会運営については、引き続き、抜本的な見直しが必要です。運営委員会では、会員の皆様にとって、有意義な学会運営となることを目指し、検討を続けています。

2017 年度決算(案)概要 ()内は 2016 年度

(単位:万円)

収 入		支 出	
繰越金	259 (388)	RURDS 購読	314 (341)
会費(国内, 国際, 賛助)	544 (480)	「応用地域学研究」刊行	0 (126)
その他(雑誌販売等)	0 (2)	大会開催補助	△12 (3)
		国際会費	22 (20)
		事務費, その他	108 (121)
収入合計	803 (870)	支出合計	432 (611)
(繰越金を除く収入計)	544 (482)	繰越金	371 (259)

8. 2018 年度第 1 回運営委員会報告(概要)

ARSC 事務局

2018 年度第 1 回運営委員会が 6 月 2 日(土)に行われました。議事録等の詳細が必要な方は事務局までお知らせ下さい。以下に、議事の要点をご紹介します。

議事要旨

1. 運営委員選挙結果報告（前掲）

2. 運営幹事等役員の選任(2018年度選任)

*2018年度に新規の選任となる，運営幹事（総務，会計，渉外），研究発表大会プログラム委員会（委員長・委員），坂下賞選考委員会（委員長・委員），応用地域学会論文賞選考委員会（委員長・委員）の各委員長・委員を選任した。

*事務局長については適任者不在のため，総務，会計，渉外担当の運営幹事が各業務の責任者として運営業務にあたることが確認された。

*（2018年度役員一覧は，前掲）

3. 2017年度決算と課題

*事務局より2017年度決算概要について報告された。（前掲）

4. 2018年度坂下賞の選考について（前掲）

*例年どおりに，受賞候補者の自薦他薦を含めた推薦を公募する（ニュースレター・ホームページで公募を開始）。

5. 2018年度応用地域学会論文賞の選考について(前掲)

6. 2018年度研究発表大会（南山大学）の開催について（前掲）

*大会実行委員長の奥田隆明先生（南山大学）より，大会準備状況，実行委員会メンバーなどが報告された。

*参加費は昨年と同額。正会員 3,000 円，非会員 5,000 円，学生は会員・非会員に依らず 1,000 円。

*公開シンポジウムは無料。

*懇親会費は，一般 5,000 円，学生 2,000 円。

*ホームページは7月開設予定

*スケジュール

・発表申込期限：9月15日（土）

・プログラム確定：10月20日（土）頃 プログラム委員が最終決定

・発表論文提出期限：11月9日（金）

・参加申込：11月9日（金）

*ARSCからはアルバイトや茶菓代を補助する。

*プログラム委員会に，開催校からは石川良文先生が加わる。

7. 2018年度 第8回アジア地域科学セミナーの開催について

*2018年9月7日（金）～9日（日） Jeju National University（韓国済州島）で開催予定のアジア地域科学セミナーのARSCからの参加状況について報告された。

・5月18日時点で，論文発表申込 86 本（うち ARSC 13 本）

8. ジャーナルの編集状況及び今後の方針について

① 応用地域学研究

*編集委員長 堤盛人先生より，No. 21 の発行と No. 22 の査読状況が報告された。

② RURDS

*編集委員長宇野公子先生より、RURDS への投稿状況、アクセス状況などについての報告があった。

9. 今後の経理の見通しと対策について

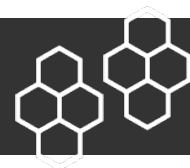
*安藤会長より、藤会長より、RURDS に関する Wiley との交渉状況について、報告された。委員会では、引き続き、Wiley との交渉を続け、最善策を検討することが決定した。

10. その他

*会費収納率向上のため、学会費支払い方法などが検討された。

以上

9. 事務局だより



ARSC 事務局

ARSC 会員現勢

2018年6月30日現在の会員数(昨年度総会以降の入退会者を含む)は以下の通りです。

個人会員 476名(内、一般会員 416名、学生会員 50名、海外会員 5名)

賛助会員 5団体(総口数7口)。

転居先不明者の情報提供にご協力ください

2017年6月30日 転居先不明者：

一般会員：近藤広紀(信州大学)、麻生 憲一(奈良県立大学)、朝田 康禎(熊本大学)

学生会員：林 遼平(広島大学)

事務局からのお願い

◆ 会員の皆様の登録情報は、メール連絡やジャーナル等の送付に重要な情報となっています。変更があった場合は、会員ページ(<https://service.kktes.co.jp/smms2/loginmember/arsc>)にログインし、速やかに登録情報の変更をお願いいたします。

◆ 地域科学に関連する分野の研究に興味を持たれている個人または団体が周囲に居られましたら、是非入会をお勧め頂くようお願い致します。新規会員の入会申込はARSCのホームページ(<http://www.arsc.org/>)の「入会手続き」より行ってください。入会に関するお問い合わせは、ARSC事務局にメール(clerk@arsc.org)まで。

◆ 事務局やニュースレター等に対しまして、ご意見や新しい企画等ございましたら、是非、お知らせください。

編集 後記

西日本を襲った記録的な豪雨による広域被害の復旧・復興作業に、連日の猛暑が追い打ちをかける状況となっています。お亡くなりになられた方に対しお悔やみ申し上げます。まだ安否がわからない方については、一日でも早く無事に見つかることを祈るばかりです。応用地域学会会員の中にも被害にあわれた方がいらっしゃるかもしれません。被害を受けられた方には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

ARSC NEWS No.97 (2018年7月発行)

発行元 応用地域学会事務局 (文部科学省学会コード=10023)

会長: 安藤 朝夫

ARSC NEWS 担当: 大澤 義明 (副会長) / 曾 道智 (渉外担当幹事) / 田宮すみ恵 (事務局)

〒162-0805 東京都新宿区矢来町 126 NITTO ビル (株)メッツ研究所内

TEL: 03 (5227) 7804 / FAX: 03 (5227) 7807

Email: clerk@arsc.org / 学会 HP: <http://www.arsc.org/jp/>